

令和6年度 阿賀野市営バスの運行状況

1 現在の公共交通について

阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを平成16年度から運行し、公共交通網が市内全域に広がっています。

市営バスは6路線及びAIオンデマンド運行により、朝夕は主に学生の通学のため、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心とした通院や買い物など、生活に必要な交通として機能しています。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしています。

図 阿賀野市公共交通網の将来イメージ



2 市営バスの利用状況

市営バスの利用者数は、平成 16 年度の運行開始から平成 21 年度まで増加を続けていましたが、固定利用者や学生の減少、高齢者の自家用車運転の増加等により、平成 22 年度以降は減少傾向に転じており、令和 6 年度は 74,641 人で、前年度に比べ、減少となっています。

1 日平均利用者数で見ると、令和 6 年度は 361.5 人となります。

この結果は、令和 6 年 10 月から定時定路線の一部（江端線・寺社線・大室線・駒林線・前山線）を A I オンデマンドバスに移行し、3 台運行していますが、これまで冬期間市営バスを通学で利用していた小学生が、スクールバスに移行したことによる減少も含まれています。

年度別利用者数の推移

